

平成23年度事業報告書

(平成23年6月1日～平成24年3月31日)

輻射科学研究会は、平成23年6月1日、公益財団法人に移行し、新法人として初年度の事業運営を行った。平成23年度(平成23年6月1日～平成24年3月31日)における事業報告は以下の通りである。

I. 事業の状況

(1) 研究助成・表彰事業(公益目的事業1;公1)

1. 基礎的萌芽的研究の助成

以下に示す3件について研究助成(助成額:1件当たり10万円)を行った。

申請数:3件 採択数:3件

申請1(平成23年6月10日):玉山泰宏(京都大学大学院)

論文番号:RS11-02

著者:玉山泰宏,中西俊博,北野正雄(京都大学大学院)

発表論文題目:負屈折率媒質における位相速度,群速度およびエネルギー速度の関係

申請2(平成24年3月1日):梅田一彰(岡山県立大学大学院)

論文番号:RS11-13

著者:梅田一彰,若林秀昭,山北次郎(岡山県立大学)

発表論文題目:散乱因子から導出されるスペクトル領域グリーン関数を用いた
複合誘電体格子の計算法

申請3(平成24年3月1日):松室堯之(京都大学大学院)

論文番号:RS11-14

著者:松室堯之,石川容平,篠原真毅(京都大学大学院)

発表論文題目:小型アンテナへの応用を目的とした多重極輻射の考察

審査委員:

委員 中桐 紘治 教授(近畿大学)

委員 松本 俊郎 教授(近畿大学)

2. 優れた研究者の表彰

本年度については該当なし。

(2) 研究会・講演会開催事業(公益目的事業2;公2)

年4回の研究会及び年1回の見学会(別表I参照)を通じて輻射科学に関する専門的知識の普及を行い、その結果を公益目的事業3で公表した。またその結果は下記の無料の技術相談を開設するこ

とによって調査結果の一部を社会へ還元した。

●研究会：7月、11月、12月、3月

●見学会：11月

●技術相談：以下に示す1件の相談を受け付け、回答を示した。

受付日：平成23年8月22日

相談者：小倉真三（株式会社エスジー）

相談内容：マイクロ波による物体検出装置の動作特性に与える強磁場の影響について

(3) 輻射科学研究会資料集の作成ならびに販売事業（公益目的事業3；公3）

研究発表及び見学会（別表I参照）において示された研究成果を調査し、その結果を「2010年度輻射科学研究会資料集」として発刊（平成23年6月1日）した。

II. 処務の概要

(1) 役員等に関する事項

職名	常勤・非常勤	氏名	就任(重任)年月日	担当職務	報酬	現職	備考
代表理事	非常勤	佐藤 亨	平成 23. 6. 1	総括	なし	京都大学教授	
理事	〃	浅居正充	〃	全般	〃	近畿大学教授	
〃	〃	石川容平	〃	〃	〃	村田製作所顧問	
〃	〃	岡村康行	〃	会計及び全般	〃	大阪大学教授	
〃	〃	橋本正弘	〃	全般	〃	大阪電気通信大学名誉教授	
監事	〃	岩井誠人	平成 23. 6. 1	財務及び全般	〃	同志社大学教授	
〃	〃	岸岡 清	〃	監査全般	〃	大阪電気通信大学教授	
評議員	〃	飯野博司	平成 23. 6. 1	全般	〃	古野電気常務取締役	
〃	〃	上田大助	〃	〃	〃	パナソニック主席技官・理事 先端技術研究所所長	
〃	〃	北野正雄	〃	〃	〃	京都大学教授	
〃	〃	桑原秀夫	〃	〃	〃	富士通研究所フェロー	
〃	〃	中山純一	〃	〃	〃	京都工芸繊維大学名誉教授	
〃	〃	西原 浩	〃	〃	〃	大阪大学名誉教授	
〃	〃	林 秀樹	〃	〃	〃	住友電気工業理事・フェロー 材料技術研究開発本部技師長	
〃	〃	八木重典	〃	〃	〃	三菱電機開発本部役員技監	

(2) 職員に関する事項

職名	常勤・非常勤	氏名	採用年月日	担当事務	給料	備考
事務局長	非常勤	西村貞彦	平成 23. 6. 1	総括、企画	24万円/年	

(3) 会議に関する事項

●理事会

第1回理事会（平成23年7月7日）

1. 平成23年度事業報告（平成23年4月1日～平成23年5月31日）
について 全会一致で承認・可決
2. 平成23年度収支決算報告（平成23年4月1日～平成23年5月31日）
について 全会一致で承認・可決
3. 平成23年度会計監査報告（平成23年4月1日～平成23年5月31日）
について 全会一致で承認
4. 平成23年度事業計画案（平成23年6月1日～平成24年3月31日）
について 全会一致で承認・可決
5. 平成23年度収支予算案（平成23年6月1日～平成24年3月31日）
について 全会一致で承認・可決
6. 業務執行理事を選定
7. 事務局長を任命
8. 第1回評議員会の日時及び場所並びに議題について 全会一致で承認・可決
9. 印章取扱規程の制定について 全会一致で承認・可決

第2回理事会（平成24年3月28日）

1. 平成24年度事業計画案について 全会一致で承認・可決
2. 平成24年度収支予算案について 全会一致で承認・可決
3. 賛助会員の退会について 全会一致で承認

●評議員会

第1回評議員会（平成23年7月19日）

1. 評議員会議長を選出
2. 議事録署名人を選出
3. 平成23年度事業報告（平成23年4月1日～平成23年5月31日）
について 全会一致で承認・可決
4. 平成23年度収支決算報告（平成23年4月1日～平成23年5月31日）
について 全会一致で承認・可決
5. 評議員（1名）の辞任について 全会一致で承認

●審査委員会(研究助成)

第1回審査委員会（平成23年7月19日）

研究助成の可否について 次の1件を助成可

RS11-02

第2回審査委員会（平成24年3月26日）

1. 研究助成の可否について 次の2件を助成可

RS11-13, RS11-14

(4) 出版事業に関する事項

2010年度「輻射科学研究会資料集」を発刊(平成23年6月1日発行)

(5) 主務官庁からの連絡事項等

平成23年5月30日付公益財団法人移行認定

(6) その他重要事項

平成23年6月1日付公益財団法人輻射科学研究会設立登記

別表 I 研究会の開催と発表課題

第一回研究会

◎日時 平成 23 年 7 月 19 日 (火) 13 時 30 分～16 時 15 分

◎会場 京都大学工学部 3 号館北館 2F セミナー室
京都市左京区吉田本町

◎発表者・題目

RS11-05 佐保賢志、佐藤亨 (京都大学大学院)

“UWB ドップラーレーダ干渉計法による複数運動目標イメージング”

RS11-06 河田健太郎 (大阪電気通信大学大学院)、海老原聡 (大阪電気通信大学)

“ボアホールレーダのための誘電体導波路によるマイクロ波電力伝送の検討”

RS11-07 高原淳一、上羽陽介 (大阪大学)

“熱励起擬似表面プラズモンによるテラヘルツエミッター”

◎出席者数 20 名

第二回研究会・神戸大学海事科学部見学会

◎日時 平成 23 年 11 月 1 日 (火) 13 時 30 分～16 時 00 分

◎会場 神戸大学深江キャンパス内 練習船「深江丸」
神戸市東灘区深江南町 5 丁目 1-1

◎発表者・題目

RS11-08 松本朋子 (古野電気株式会社)

“航海電子機器概要”

RS11-09 矢野吉治 (神戸大学)

“錨泊システムへの超音波の応用”

◎出席者数 28 名

第三回研究会

◎日時 平成 23 年 12 月 21 日 (水) 13 時 30 分～16 時 00 分

◎会場 同志社大学京田辺キャンパス 有徳西館 5 階 YE-516
京田辺市多々羅都谷 1-3

◎発表者・題目

RS11-10 小林明広、出口博之、辻幹男 (同志社大学)

“フェーズレトリバブル法による広角ビーム成形とそれを実現する
アンテナ構成について”

RS11-11 中司真裕、出口博之、辻幹男 (同志社大学)

“任意形状単位セルで構成された右手/左手系複合伝送線路”

RS11-12 松室堯之、石川容平、篠原真毅 (京都大学生存圏研究所)

“球面電磁波のエネルギー、角運動量保存に関する一考察”

◎出席者数 16 名

第四回研究会

◎日時 平成 23 年 3 月 26 日（月）13 時 30 分～16 時 45 分

◎会場 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス 学術交流会館（C1 棟）多目的ホール
堺市中区学園町 1 番 1 号

◎発表者・題目

RS11-13 梅田一彰、若林秀昭、山北次郎（岡山県立大学）

“散乱因子から導出されるスペクトル領域グリーン関数を用いた
複合誘電体格子の計算法”

RS11-14 松室堯之、石川容平、篠原真毅（京都大学）

“小型アンテナへの応用を目的とした多重極輻射の考察”

RS11-15 和田健司、木本琢也、竹本直史、橋井 匠、松山哲也、堀中博道（大阪府立大学）

“THz 時間領域分光法の妥当性確認と THz 波の時間波形の再構築”

RS11-16 三好悠司*、並木周**、北山研一***、大橋正治*

（*大阪府立大学、**産業技術総合研究所、***大阪大学）

“光ファイバの非線形光学効果を用いた光 A/D 変換技術”

◎出席者数 16 名

平成 23 年度研究発表内訳（H23.6～24.3）

機関	ミリ波・マイクロ波関連		光関連		その他 会議報告など	計
	主に理論	主に実験	主に理論	主に実験		
大学	6	3	1	1	0	11
企業	0	1	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0
小計	6	4	1	1	0	0
計	10		2		0	12

過去三ヶ年の発表件数および延出席者数

年 度	発表件数	出席者数
平成 21 年度	18	103
平成 22 年度	16	71
平成 23 年度(平成 23 年 4 月～5 月)	4	17
平成 23 年度(平成 23 年 6 月～平成 24 年 3 月)	12	80

以 上